

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	重度障害者歯科診療所運営補助				シート番号	011-135
担当部署名	健康福祉	局	障害福祉	部	障害者支援	課 評価責任者(課長名) 佐野

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け
			施策	3	障害者等が自分らしく輝いて暮らせる地域社会の実現	無
	2	事業開始年度	平成 20 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	堺市重度障害者歯科診療所管理運営補助金交付要綱			
	4	関連計画	第4次堺市障害者長期計画、第5期堺市障害福祉計画			
5	事業実施の経緯	平成19年度に堺市堺区旭ヶ丘中町にあった大阪府立身体障害者福祉センター附属病院の移転に伴い、当センターが担っていた障害者医療の中でも障害者の歯科診療のニーズが非常に高いことを受け、堺市独自で重度障害者歯科診療所の整備を行い、平成20年度から本事業を実施している。 なお、重度障害者歯科診療所の建設経費(建設時の借入金に対する償還金)に対する補助は平成29年度で終了している。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()				
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	一般の歯科診療所で治療を受けることが困難な障害者(児)				
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	重度障害者歯科診療所の安定的な運営を図り、重度障害者等に対して、安全で適切な歯科診療を提供することで健康維持を図る。				
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	一般の歯科診療所での治療が困難な障害者(児)を対象とした歯科疾患に関する相談、指導、診断、治療及び機能回復訓練を実施するため、一般社団法人堺市歯科医師会が運営する堺市重度障害者歯科診療所の運営経費を補助する。				
10	直接実施以外の主な支出先	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 () 一般社団法人 堺市歯科医師会					

Ⅲ. 投入量

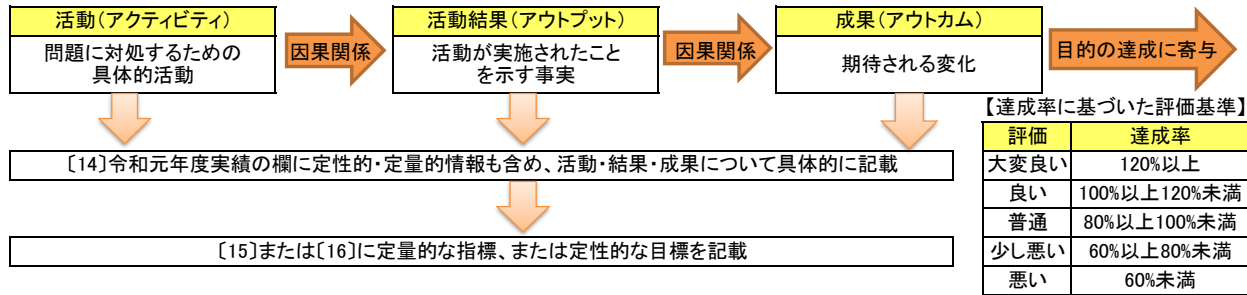
事業コスト	項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度
			予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算
11	事業費 (a)	千円	131,625	131,158	91,140	82,921	85,701	85,521	85,457
	主な事業費内訳								
	運営補助金	千円	88,462	87,995	91,140	82,921	85,701	85,521	85,457
	建設借入金償還補助金	千円	43,163	43,163					
		千円							
		千円							
		千円							
財源内訳	国・府支出金	千円							
	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
	市債	千円							
	その他()	千円							
	一般財源	千円	131,625	131,158	91,140	82,921	85,701	85,521	85,457
12	人件費 (b)	千円	1,640	1,640	1,640	1,640	1,620	1,620	1,640
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	133,265	132,798	92,780	84,561	87,321	87,141	87,097

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	重度障害者歯科診療所運営補助	シート番号	011-135
-------	----------------	-------	---------

Ⅳ. 評価(測定・分析)》

ロジックモデルの考え方



[14] 令和元年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15] または [16] に定量的な指標、または定性的な目標を記載

事業の活動実績や成果

令和元年度実績							
活動実績と成果	14	<p>堺市重度障害者歯科診療所では、「心や体に障害がある」「歯科診療に対する恐怖心が強い」「全身的な疾患がある」といった理由で、一般の歯科診療では治療が困難な障害者(児)に対し、痛みや不快感を感じることがないよう、全身麻酔を使うなど、高度かつ専門的な医療技術を用いながら安全で質の高い治療を行うことができ、全身麻酔を用いた治療は年間761件、全身麻酔を含めた年間診療件数は1,765件となっている。</p>					
	指標名【成果指標】		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	15	診療件数(年間)	件	目標値	—	—	—
				実績値	1,772	1,756	1,765
				達成率	—	—	—
				評価	—	—	—
	算出方法・設定根拠など		年間診療件数(数値化した目標の設定にはなじまないため、目標値を設定していない)				
	指標名【成果指標】		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	16	診療件数のうち、全身麻酔の件数	件	目標値	—	—	—
				実績値	726	747	761
				達成率	—	—	—
				評価	—	—	—
	算出方法・設定根拠など		全身麻酔を使った治療件数(数値化した目標の設定にはなじまないため、目標値を設定していない)				

事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①	年間診療件数	件	1,772	1,756	1,765
	②	上記①にかかる年間経費	千円	132,798	84,561	87,141
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	74,942	48,156	49,372
	備考(算出についての説明等)		上記②(平成29年度)には、重度障害者歯科診療所の建設借入金償還金43,163千円を含む			
		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	①					
	②	上記①にかかる年間経費	千円			
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位			
	備考(算出についての説明等)					

業績の分析

目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析(その他、関連情報に基づいた分析)	
19	<p>堺市重度障害者歯科診療所では、安全で質の高い治療として、一般の歯科診療所では対応が困難な全身麻酔を併用した歯科治療を行っており、全身麻酔の件数は毎年一定数の需要があり、診療件数の4割以上を占めている。</p>

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありませんでしたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	重度障害者歯科診療所運営補助	シート番号	011-135
-------	----------------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。 ⇒ 確認

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 一般の歯科診療所では治療困難な患者を対象としていることから、廃止した場合には、医療の確保ができなくなる。	
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 一般の歯科診療所では治療困難な患者を対象としていることから、休止した場合には、医療の確保ができなくなる。	休止の場合の再開時期 <input type="checkbox"/> 令和2年度中 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 補助金額は「管理運営経費から診療報酬等の収入を差し引いた額」を限度としているため、収益が発生しない仕組みとなっている。全身麻酔を併用した歯科治療であるため診療件数が限られており、補助金を廃止あるいは縮減した場合は、赤字となり事業運営が困難となる。	
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	事業手法の適切性 <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input checked="" type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 歯科医療機関として感染予防策を行っている。	
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は■、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は□) ① <input checked="" type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 () 関連事業名 () ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input checked="" type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他 ()	理由・説明	高度かつ専門的な医療技術を用いた治療が必要で、一般の歯科診療所での治療が困難なことから他の政令市でも類似の事業を実施している。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大		実施年度 <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降	
		所見 今後も「全身的な疾患がある」などの理由で一般の歯科診療では治療が困難な障害者(児)に対して安全で適切な歯科診療を提供することが必要と考えている。			